

MPS SNT-01

特殊骨材添加による非粘着塗料
商標登録 5726098

MPS SNT-01は、Si-O（酸化ケイ素）結合を有する無機系超非粘着コーティングシステムです。Si-Oの働きがハスのロータス効果と同様の効果を再現、汚れや粘着成分をはじくことにより、『落書き防止機能』と『貼り紙防止機能』を実現しています。

特殊骨材を添加することによって製膜後は撥水・撥油性・超非粘着性能を有し、耐熱性・耐候性・耐薬品性・耐摩耗性に優れたハードコートを形成することができます。

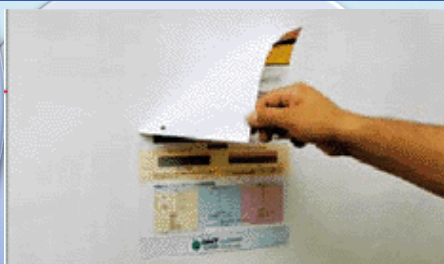
特長

- ※ 1. ハジキの原因となるためスプレーガン等は専用とし、他の塗料には使用しないでください。
- ※ 2. プラスチック用途では MPS SNT-02 がラインナップされています。

非粘着性能	油性マジック・塗料による落書きや粘着テープ・接着剤による貼り紙を寄せ付けず、また簡単に除去できます。
高耐候性	耐候性・耐薬品性・耐摩耗性に優れ、被塗物を長期にわたって保護します。
撥水・撥油	水、油をはじき、汚れがついても簡単に落とせます。
作業性	常温硬化が可能のため現場施工に適し、厚膜でも割れが生じません。塗装方法に限定がなく、特殊な塗り方も必要としません。※ 1
密着性	鉄・アルミ等の金属、セメント基材、アクリル等のプラスチックといった様々な素材に塗装できます。※ 2
仕上り	特殊骨材（ビーズ）による凹凸は均一で、意匠性の高い仕上がり感が得られ、また、トップコートは高い透明性を有しており、専用プライマーによる高意匠着色を損ないません。

応用と用途

- ① 貼り紙防止
- ② 落書き防止
- ③ 焼き菓子付着防止・あられ製造付着防止
(ただし同等他社品の実績です)
MPS SNTでは食品関係の実績はありません。



塗膜性能

素材	ボンデ鋼板 (150×50×0.3mm)
乾燥	150℃×3 0 min乾燥
膜厚	25~30μm

塗装仕様と塗装条件

塗料	MPS SNT-01P (ベースコート) 各種カラー/クリア
混合比	主剤/硬化剤 = 100/10
希釈率	30~50%
膜厚	20~30μm
標準使用量	150~200 g/m ²
塗装間隔	80℃ x 30分 (常温乾燥も可)
可使時間	8時間 (20℃)
可使温度	5~30℃
可使湿度	最大80%

塗料	MPS SNT-01T (トップコート) クリア/艶消
混合比	主剤/硬化剤 = 100/10
希釈率	100~120%
膜厚	5~10μm
標準使用量	50~100 g/m ²
塗装間隔	80~150℃x30分 (常温乾燥も可)
可使時間	2時間 (20℃)
可使温度	5~30℃
可使湿度	最大80%

試験項目	試験条件	試験結果
鉛筆硬度	三菱鉛筆ユニを用いて塗膜硬度を調べる	3H
付着性試験	碁盤目テープ法 1mm方眼 100 個作成。 セロテープ剥離テスト	100/100
耐屈曲試験	屈曲試験器にて直径15mm棒を使用して180℃折り曲げ	異常なし
耐衝撃試験	落球試験 (W=4.9N, H=30cm)	異常なし
耐摩耗性	学振摩耗試験 (w=4.9n, 2cm 角 500回)	異常なし
耐水試験	40℃温水中に10日間浸漬、セロテープ剥離テスト	100/100
粘着性試験	3cm X 3cmの紙の裏面に各種接着剤、粘着剤を貼り付け、端部をめくり、クリップを留め、紙を逆方向にバネばかりで引上げ、バネばかりの引っ張り数値を測定	
	1) ポリビニールアルコール	0 g / c m ²
	2) 酢酸ビニルエマルジョン	0 g / c m ²
	3) エチレン酢酸ビニルエマルジョン	0 g / c m ²
	4) Iボ [®] 樹脂 / ポリオール	0 g / c m ²
	5) Iボ [®] 樹脂 / 変性ポリアミド	0 g / c m ²
	6) 合成ゴム	0 g / c m ²
	7) 塩化ビニル	0 g / c m ²
	8) ガムテープ	0 g / c m ²
耐アルカリ試験	水酸化カルシウム飽和溶液を含むガーゼをスポット	異常なし
耐酸試験	5%硫酸水溶液を一滴滴下	異常なし
耐溶剤性	1) メチルエチルケトン ラビングテスト (4.9N 荷重、10往復)	異常なし
	2) エタノール ラビングテスト (4.9N 荷重、10往復)	異常なし
	3) エーテル ラビングテスト (4.9N 荷重、10往復)	異常なし
	4) ベンジン ラビングテスト (4.9N 荷重、10往復)	異常なし
	5) 無鉛ガソリン ラビングテスト (4.9N 荷重、10往復)	異常なし
促進耐候性	サンシャインウエザーメーター (1000時間) 光沢保持率	90%以上

* 上記数値は参考値であり、規格値ではありません。

塗装時の注意事項 詳細な内容については、製品の MSDS をご参照下さい。

塗装環境	通気性の悪い環境下での使用は避けてください。
前処理	素材表面の油分、水分、汚れは溶剤脱脂により十分に除去してください。
塗装	<ul style="list-style-type: none"> 主剤と硬化剤は、正確に調合し、十分に攪拌して下さい。 混合後の塗料は、可使時間内に使い切ってください。 塗装は速やかに行ってください。長時間放置すると目詰まり、塗りムラの原因となります。 膜厚は指定された範囲内になるよう管理してください。
乾燥	乾燥時に有機ガスが発生しますので換気、排気を十分に行ってください。
保管	<ul style="list-style-type: none"> 塗料は、冷暗所に保存してください。 本塗料は空気中の水分と反応する性質がありますので、ご使用後は密栓してください。
廃棄	塗料の使用残や廃液の処理は MSDS (製品安全データシート) に従ってください。
取扱注意	<ul style="list-style-type: none"> 可燃性の有機溶剤を使用しているため火気のある所では使用しないで下さい。 皮膚や粘膜、特に眼などに刺激性があるため接触しないよう十分注意してください。

【memo】